

採択された事業の概要

世界自然遺産「西表島」ボトルリユースと給水によるごみの発生抑制モデル事業

～ボトルをお供に楽しく観光、ペットボトル0の島へ～

事業実施場所：沖縄県竹富町

事業実施事業者

代表事業者：ミシマ・オーエー・システム株式会社

事業実施場所

沖縄県八重山郡竹富町（西表島）

【事業概要】

観光周遊アプリにより、歴史・文化や自然の学びに繋がるミッションを通して地域の魅力や価値をストーリーにして来訪者と共有し、地域資源と来訪者との間に特別なつながりをつくる。併せて、アプリ利用時に竹富町の離島のマナーやルールに関する情報提供を行い、ナッジの考え方を活用して、ゲームを楽しむようにごみのポイ捨て削減や適切な排出に向けた意識改革や行動変容を促す。宿泊事業者やレジャー事業者より訪問客にリユースボトルの貸し出しを行い、ペットボトルの購入機会や持ち込み数を減らすことで、ごみの発生抑制を実現する。

背景：

西表島は西表石垣国立公園に属しており、さらに2021年7月には世界自然遺産に登録され、国内外問わず大きく注目されており、入域観光約数は年間30万人程度である。一方で自然資産が無秩序に利用されてきた経緯もあり、オーバーツーリズム対策が強く要求されている。

目的：

将来的に西表島への訪問者全員がマイボトルやリユースボトルを利用し、ペットボトル0の島を実現するためのはじめの一歩として本事業を実施する。

目標：

- ・ボトル管理や給水ミッションにより、ボトルを利用した観光体験を一体化させ、ペットボトルの購入機会や持ち込み数を減らすことで、ごみ発生を抑制する。
- ・観光スポットにおけるミッションにより、楽しみながら西表島の歴史・文化や自然を学ぶインタープリテーションを通して、地域に対する理解度の向上や愛着の醸成を促進する。
- ・西表島のマナーやルールを伝えることで、ごみのポイ捨て削減や適切な排出に向けた意識や行動を後押しする。

観光周遊アプリ+ナッジでポイ捨て抑制含む行動変容



インセンティブや見える化で利活用促進



給水とボトル利用でペットボトルごみの発生を抑制

